

## 令和5年度「飼料用米多収日本一」受賞者決定

多収を実現し、先進的で他の模範となる飼料用米生産者を表彰する「飼料用米多収日本一」において、全国から146件（うち東北から85件）の応募がありました。**東北管内では福島県の熊谷さんが農林水産大臣賞を受賞し、他5名が全国表彰受賞、2名が東北農政局長賞を受賞しました。**

また、協同組合日本飼料工業会会長賞を受賞した秋田県の樋熊さんは、GPSアシスト田植え機の活用  
や中干し延長  
といった環境  
負荷低減の取  
り組みと多収  
を両立しまし  
た。

### 【地域の平均単収からの増収の部】

| 褒賞  | 農林水産大臣賞                 | 全国農業協同組合中央会会長賞          | 東北農政局長賞                 |
|-----|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 受賞者 | 熊谷 聡                    | 高野 博文・高野 森夫             | 小野寺 忠孝                  |
| 所在地 | 福島県須賀川市                 | 福島県飯館村                  | 岩手県野田村                  |
| 収量  | 地域の平均単収からの増収：311 kg/10a | 地域の平均単収からの増収：240 kg/10a | 地域の平均単収からの増収：195 kg/10a |



全国表彰を受賞されたみなさん  
(於：農林水産省本省)

### 【単位収量の部】

| 褒賞  | 全国農業協同組合中央会会長賞 | 全国農業協同組合連合会会長賞 | 協同組合日本飼料工業会会長賞 | 日本農業新聞会長賞  | 東北農政局長賞    |
|-----|----------------|----------------|----------------|------------|------------|
| 受賞者 | 古川 久夫          | 小針 暢芳          | 樋熊 学           | 高杉 伸悦      | 福士 浩樹      |
| 所在地 | 岩手県盛岡市         | 福島県須賀川市        | 秋田県大湯村         | 青森県五所川原市   | 青森県五所川原市   |
| 収量  | 788 kg/10a     | 760 kg/10a     | 837 kg/10a     | 780 kg/10a | 791 kg/10a |

詳細はコチラ



[https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/suitou/siryoumai\\_contest.html#R5](https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/suitou/siryoumai_contest.html#R5)

## 農政トピックス

「仙台せり」



登録番号 第149号  
〔生産地〕  
宮城県名取市（旧増田町）、  
仙台市太白区  
〔登録生産者団体〕  
仙台せり振興協議会

東北で35産品目の地理的表示（GI）に登録されました。

（登録年月日：令和6年3月27日）

地理的表示（GI）保護制度・知的財産に関する詳しい情報については、農林水産省HPをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi\\_act/register/0149/index.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/register/0149/index.html)



●活かすDB  
●農地区画情報  
（筆ポリゴン）  
GIS操作説明会

随時  
募集

統計データによる農業の現状や  
将来の姿の見える化を支援  
します

・農業基本指標データを市町村別や農業集落別に色分けした地図を作成したい

・所有している各種データを地図上で見える化したい

・農業集落別地図作成ツール（活かすDB）の利用講習会を開催したい



例  
可浸水地域と域の求積

◎東北農政局HP  
（統計コンシェルジュ問い合わせフォーム）

[https://www.contactus.maff.go.jp/j/tohoku/form/toukei/kikaku/toukeidata\\_toiawase.html](https://www.contactus.maff.go.jp/j/tohoku/form/toukei/kikaku/toukeidata_toiawase.html)



## 毎年6月は「食育月間」です

「誰かと一緒に食べていますか？」

～家族や仲間との楽しい食事は心身も元気にします～

心もからだも健康で質の高い生活を送るための基本である食育。「食育月間」では食育に関する取組が全国規模で重点的に行われます。

東北農政局では月間中に「食でつながる食育の環～作って食べて伝え合う共食の楽しさ～」をテーマに食育セミナーを開催するほか、消費者展示コーナーでは「日本型食生活」について紹介します。



6月は食育月間

毎月19日は「食育の日」です。

食べることには生きることであり、健康な身体と心を育むことにつながります。

栄養バランスや食品ロス削減などについて、正しい知識を身につけましょう。



食育活動表彰  
6月上旬募集開始!

農林水産省

### ◇食育セミナー

開催日時 6/19（水）13:30～16:00

開催方法 会場参集（30名）及びオンライン（100回線）

「食育」に関する情報は、

東北農政局HP「とうほく食育ひろば」をご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syouan/syokuiku/index.html>

毎月食育に関する情報をメルマガで発信中です。

ぜひこの機会に会員登録をお願いします。お待ちしております。

[https://www.maff.go.jp/tohoku/syouan/syokuiku/mail\\_mg.html](https://www.maff.go.jp/tohoku/syouan/syokuiku/mail_mg.html)





## 地域からの便り

各県拠点では「農山漁村の季節の風物詩」、「農産物直売所、農漁家民宿等の取組」、「村おこしイベント」、「農山漁村の行事、お祭り」、「郷土料理」など東北各地域の取組や様子などを東北農政局HPで紹介しています。

### 海が育む至宝の味わい「山田のかき」-岩手県・山田町-



昭和30年頃にかき養殖が始まった山田町では、山田湾の穏やかな海面条件が養殖漁業に適しており、北上山地から複数の川となって流れ込む栄養豊富な水がかきの身を太らせるためかき養殖が盛んになりました。

(2024年2月5日掲載)

写真：かきを収穫する漁業者（三陸やまだ漁業協同組合 提供）



### 食料支援と生活相談を行うことで、誰も困窮しない社会を目指して -宮城県・仙台市-

食料支援は、原則として仙台市在住の方を対象に、年間延べ3,000世帯、8,000人に行っているほか、子ども食堂などの支援団体にも提供しており、その食料の総重量は約50トンにもなります。緊急的な食料支援の依頼もあることから、十二分な食料確保が必要となっています。

(2024年2月20日掲載)

写真：フードバンク仙台では自ら食料生産に取り組んで無償提供しています（フードバンク仙台 提供）



### 奇祭「掛魚まつり」と鱈汁 -秋田県・にかほ市-



「掛魚（かけよ）まつり」は、別名「鱈（タラ）まつり」とも呼ばれ、漁師が貴重な漁獲の一部を氏神である神社に奉納するための神事で、日本の奇祭のひとつと言われています。

写真：奉納された鱈

(2024年3月5日掲載)



## 農作業中の熱中症を予防しましょう！！

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です！！



### 予防のポイント

- ・高温時の作業は極力避ける
- ・こまめな休憩と水分補給
- ・単独作業は避ける
- ・熱中症対策アイテムの活用

熱中症関係情報についてはこちらからご覧いただけます。

[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/nechu.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nechu.html)



### 「豚熱」・「アフリカ豚熱」の侵入防止！

豚熱は、東北では令和2年に山形県の農場で発生以降、宮城県と岩手県で発生しています。また、野生イノシシの豚熱感染は、これまで青森県を除く東北各県で確認されています。

近隣国では、豚熱及びアフリカ豚熱の発生が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いていますので衛生管理を徹底しましょう。

#### 豚熱情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>



#### アフリカ豚熱情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>



#### 野生イノシシの豚熱検査情報情報はコチラ

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar\\_map.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html)



## 農村振興部から優良事例紹介

↑ 目的の二次元バーコードがうまく読み込めない場合は、指などで不要な二次元バーコードを隠した状態で読み込んでください。

### 事業実施主体

## 【ころもがわ農泊地域協議会】

R3～4年度実施  
(岩手県奥州市)

増大するインバウンド需要に対応するため、仏教国で親日度の高いタイをターゲットとして、体験コンテンツ造成、食事メニュー開発、通訳サポートの構築、受入体制整備、情報発信等の取組を実施しました。

#### ◆取組内容

- 体験プログラムの開発
- 地元食材活用の新メニュー開発
- 体験コンテンツ施設のWi-Fi等の整備
- 通訳サポートの構築
- 在日タイ人インフルエンサーのSNSによる情報発信 等



サムライ衣装で乗馬体験



地元食材活用のピクニックランチ

### ■農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）のうち

### 農山漁村発イノベーション推進・整備事業（農泊推進型）

農泊の運営主体となる地域協議会等に対して、ソフト・ハード両面から一体的に支援します。

#### 1. 農泊推進事業（農泊の推進体制整備や観光コンテンツの開発、Wi-Fi等の環境整備、新たな取組に必要な人材確保等の活動を支援）

- ◆事業実施主体：地域協議会等
- ◆交付率：定額（上限500万円／年等）
- ◆実施期間：2年間
- ◆農泊推進体制：中核法人を中心として、地域が一丸となって、**農泊をビジネスとして取り組むことが重要**

#### 2. 施設整備事業（古民家等を活用した滞在施設、体験・交流施設等の整備、農家民泊等における小規模な改修等を支援）

- ◆事業実施主体：市町村、農泊の中核を担う法人等
- ◆交付率：1／2（上限：原則2,500万円等）

「農泊」の推進に関する詳しい情報については、農林水産省ホームページをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/nouhakusuishin/nouhaku\\_top.html](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/nouhakusuishin/nouhaku_top.html)

問合せ先：東北農政局農村振興部都市農村交流課 電話：022-263-1111（内線4444、4065）



◆「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

◆「食・農ひとくち情報」の問合せ先：東北農政局企画調整室支援チーム

022-263-1111（内線4402、4076）

